

午後 1 時 8 分開議

◎議長（西川亀三君）

休憩前に引き続いて会議を開きます。

◎議長（西川亀三君）

日程第 1 2 市長の施政方針演説

であります。

小林市長。

◎市長（小林治助君）

（前言）

本日ここに、昭和 4 2 年度各会計予算及び関係議案を上程し、議員各位のご審査をいただくにあたりまして、任期 4 年の足跡を顧み、所信を披歴いたしたいと存じます。

（公約）

吉浦前市長は、対立相剋を止場して和の政治態勢を確立し、全市民一致協力して（1）赤字財政の建て直し（2）合併地域の一体化（3）陸の狐島から脱却して中越の雄都となることを目途とし、市民の幸福、市勢の進展をはかるため愛郷の情熱を傾倒されました。

私は、吉浦前市長の政策を継承し、誠実、廉潔、正義と勇気をもって信頼される、明朗公式な市政を執行することを誓い、産業の振興、教育の充実、民生の安定を政策の柱として、健康で豊かな市民生活のために尽すことを公約して、爾来 4 年間公約の実現に全力を傾注してまいりました。

（4 年間の業績と現状）

（1 財政運営の概要）

政策を実現するためには、財源の確保裏付けが必要であります。産業基盤、立地条件の整わない後進地においては、産業の生産性は低く、したがって市民所得は全県平均にもおよばず、人口は減少する状況下において市税の伸張は多く期待できません。

かかる財政の状況の中で後進性を脱却して地域格差の是正をはかることは容易なことではありません。消極に墮しては停滞を免れないので果敢に積極財政をとり、特定財源の確保に格段の工夫と努力をしてまいりました。他市にさきがけて辺地債をとり入れ、辺地の道路、診療所、寄宿舍を建設し、低工法指定を受けて工場環境整備に県費補助を導入し、農業用ガソリン税還元の動向を察知していち早く手当を講じて農免道路事業を獲得しました縁故債をとり入れて市道舗装をはかる等あらゆる英知をしぼり、極力財源確保と資金の効率使用をはかったのであります。

この間、市税は、任期初年度の昭和 3 8 年の 4 億 5, 3 0 0 万円に比し、昭和 4 1 年度現計予算 5 億 2, 0 0 0 万円は 1 2 パーセントの伸びにすぎないのに、予算規模では、昭和 3 8 年度 9 億 9, 3 0 0 万円対昭和 4 1 年度現計 1 4 億 2, 0 0 0

万円は４８パーセントの伸張であることは国、県費等特定財源導入の伸張を示すものであります。

（２ 基盤整備事業）

住民福祉の向上をはかることは政治の目標であります。

恵まれざる人々を援護しつつ、努力すれば努力するほどの効果が求められる社会、希望のある職場の実現をはかるためには産業の発展を基礎としなければなりません。

今日、都市計画、住宅、環境衛生等々の問題はまた地方行政の重要な問題であります。しかし、これらの問題はその都市の住民の生業がおこり、産業が振興して栄えることと相まって施策が促進されるものであります。

私は、基盤整備、産業立地条件の改善に努力してまいりました。

道路、河川、港湾、都市計画事業等公共事業は任期中５３億円、都市を合すれば８６億円の導入をみました。かつて陸の狐島と言われた当地域の道路は、今や面目を一新しました。国道８号線は、３６年以降３２億円の巨費を投入し、米山大橋の竣工をもって完成し、裏日本縦貫道路としての重要な使命を果たすとともに、絶好な観光コースとして脚光を浴びるに至りました。

日本海岸と太平洋岸を結ぶ国道２５２号柏崎会津若松線は、３９年念願の国道昇格が実現をし、４１年度から建設省直轄路線として改良工事が大幅に施行されております。４２年度には市域の改良舗装を完成し、高柳、川西町を結ぶ長大トンネル工事も急速に進捗される筈であります。国道１１６号柏崎―新潟線も４１年度には郡内の改良工事がほぼ完了し、４２年度には舗装が完成して近々中に新産郡市新潟を結ぶ短絡路線として大いなる効果を発揮することになります。

主要県道、一般県道の改良舗装工事には７億８，０００万円投入され市域内の完成は目捷の間であり、刈羽郡地内の改良に重点が移行している現況であります。市内国道６３キロメートルに対し舗装率は９０パーセント、県道９０キロメートルの舗装率１５パーセント、市道市員４メートル以上９３キロメートルに対し舗装は１５キロメートル、１３パーセントとなりました。ちなみに、我が国の道路の平均舗装率は６パーセントにすぎません。

鉄道が複線電化されることにより輸送力は、３，２倍に増強されます。信越線の複線電化は、３９年度から着工、４６年には完成の予定であります。将来裏日本の縦貫幹線として地域の発展に大きな影響をもつ越後線の強化は、沿線住民の熱烈なる運動による成果であります。その背景にこの地区の低工法地域指定があることを深く思うべきであります。

河川改修は、鯖石川の災害助成工事、藤井堰の完成、改修工事の促進により防災に多大な効果を発揮するとともに、農業用水の確保に貢献しうる現況になりました。加えて刈羽平野土地改良区の農民諸氏が多年悲願とした中の坪ダムは、開発ダムとして国の調査費が４１年度から投入され、４３年には着工の目途がつくに至りましたことは歴史的な意義をもつものであり、郡市民のひとしく欣幸とするところであります。

柏崎港は、昭和40年に地方港湾中の特掲港湾として指定され、改修5か年計画の完了年次の44年をまたずして43年に完成する見通しであります。新潟地震の際、緊急物質の輸送に果たした役割は大きく、爾来利用の実績も著しく増加しております。

43年度には西堤頭3,000トン岸壁、上屋、倉庫等の建設を計画しており、42年度には船揚場、漁具倉庫の建設が漁業構造改造事業として実施されることになります。

都市計画事業は市街地バイパスとして重要な使命をもつ64号線の改良を完了、41年度から舗装に着工、駅通りの拡張工事の実施、柏崎神社の移転による本町海岸線の完成等、市内交通の緩和に役立つとともに、市街地近代化に大きく貢献しつつあります。

（3 産業の振興）

立地条件の改善は、広域的な地域開発計画にまたなければなりません。中越地区の総合開発、柏崎、吉田地区低工地域開発計画に準拠して開発を実行してゆくべきであります。

地域の格差是正をはかるとともに、産業間の均衡ある発展に力を尽さなければなりません。

我が国の工業は、かつて農業により支えられてきましたが、現在においては工業の発展により農業の繁栄が裏付けされるものと考えます。即ち我が国の繁栄は、工業の発展によって招来され、国民所得の増大、国民生活の向上の要因になっております。食生活の向上は畜産、果樹、高級野菜等の需要の増大を誘引しておりますし、農業の生産性の向上、機械化による農業近代化は工業の発展によって可能となり、化学の進歩は農薬の進歩に大きな貢献をしております。当地方における農業の指向すべきところもまたこの実態を正視しなければなりません。新潟県における農業の他地方に比較しての劣勢は水利費のかさむこと、稲架による労力が多いこと等があげられます。湿田を解消し省力化を実施して農業の生産性を高めるために西中通、藤井、西の入地区の農業構造改善事業を始め、小規模土地改良事業等を積極的に取り入れた結果、4,000ヘクタールの耕地中70パーセントが基盤整備を完了するに至りました。

この4年間の投資は約4億7,300万円に達しております。適地適産は、農業生産には重要なことであります。柿団地、ぶどう園の育成、栗団地の開発、米山地区を始めとする牧野造成、米山共同牧場の助成、乳牛のセット導入、ライスセンター建設への援助等、暮しの農業から企業としての農業への脱皮をはかってまいりました。

林業の開発については、特に林道の整備を重点とし、延長3,300メートルに及びました。このことは未開発地の開発、土地利用に大きく貢献するものであります。

漁業については、漁業資源の育成、沿岸養殖事業の振興、笠島漁港の復旧、漁業構造改善事業の指定を受けるなど振興に力を尽してまいりました。

産業の振興の軸をなすものは工業であると考えます。

立地条件の整備に力を尽すとともに中小企業の生産性の向上、近代化をはかるために工場集団化事業に重点を指向しました。市内 29 の中小企業が、田塚に機械金属工業団地を完成し県内随一の実績を挙げつつあります。北日本食品のほか数社が県の奨励措置の指定を受け、設備の拡張を実施し、生産の増大をはかっております。

長岡市から吉沢ダンボール工場、ゴールデン・ドッグ縫製工場、河田鑄造所等が進出、三条から進出した内田製作所は本年 2 月に駅裏新工場を完了し増産態勢に入っております。

当市工業は、その生産額においては近年国、県の伸びをしのいでおりますが、生産性においては、僅かながら国県の平均を下回っております。

4 年間ににおける工業有形固定資産投資額 44 億 7,000 万円、当市の工場誘致奨励措置を受けたもの 38 件で、その税の免除及び還元額は計約 4,000 万円であります。その他市独自の近代化資金制度の設置、職業訓練所の増設、低工道路の建設、勤労者給食センターへの援助等を実施してまいりました。

商業の繁栄は第 1 次、第 2 次産業の発展に負うところが大きですが、当市商業の零細性と従業員 1 人当りの販売額は国、県の平均に較べて残念ながら著しく劣っております。商業活動の活発化は消費人口の増大、購買力の上昇に負うべきところでありましょうがまた商店街自身の近代化による魅力ある商店の形成への努力がなければなりません。

38 年に産業会館が建設され商工業活動の中心となり、ショッピング、センターの出現による商業活動のポイントが形成されました。更に駅通り、東本町 2 丁目の歩道建設が行なわれており、その成果が期待されます。

当市の恵まれた自然環境を活用して観光産業の興隆をはかることは多くの市民の期待するところであります。

私は就任以来、広域観光ルートの整備こそ、観光発展の基礎となることに思いをいたし、国道 8 号、17 号、18 号の完成に続き 252 号、116 号線の開通、佐度航路の再開に努力するとともに当地域の観光施設整備をはかってまいりました。年金加入者ホームの誘致、中央海水浴場とユースホテルの開設、鯨波御野立公園の展望台、レストハウス、鯨波、笠島番神海水浴場管理棟の建設、柏崎射撃場建設への協力、待望の米山観光会社の設立、鯨波林道、水源地の美化、米山林道、鯨波一東の輪間トンネルの調査等積極的な姿勢で施策を講じてまいりました。以上申し述べてまいりましたように私は産業間の均衡ある発展とその総合的効果に極力努力を傾注してまいりましたが更にこれが推進をはかるために県の総合開発計画に呼応して中越総合開発計画の実施に意を用うべきものと考えます。

(4 教育の充実)

次代を担う若い世代の成長こそ人類の歴史に進歩をもたらすものであることに思いをいたし、教育の振興には格段の努力をしてまいりました。昭和 37 年着工 39 年完成の田尻小学校統合校舎の建設に 9,000 万円を、40 年には荒浜小学

校統合校舎建設を、41年から米山小学校の統合を実施して、いずれも42年に完成する予定であります。

38年度から5,100万円をもって荒浜中学校、高浜小学校、柏崎小学校各運動場の改築を完成、また1,900万円をもって小中学校のグラウンド整備、プールの新設等を実施して学校体育施設の充実をはかりました。

理科教育、産業教育振興のために小学校5校の特別教室と中学校7校の特別教室の整備に3,100万円を投入いたしました。

中通小中学校、米山小中学校の寄宿舎を新設し、へき地の児童生徒の冬期間の利用に供することにいたし、地域の青少年の健やかな成長をこいねがったのであります。

また市内高等学校関係施設にこの4年間5,700万円の支出をして協力をいたしてまいりました。

（5 民生の安定）

民生の安定向上は、健康で豊かな市民生活の実現をはかることであります。市民生活に密着したあたたかい行政が明るい社会の建設につながるのであります。

農村の生活環境の向上を意図して都市ガスを田尻、高田、荒浜、西中通、北鯖石の新市域2,600戸に39年から3か年の継続事業1億7,000万円で供給を開始し、また急増する水道の需要に対処するため2億4,000万円を投じて新浄水場の建設、導管布設等を実施いたしました。

中通地区には39年度2,500万円で簡易水道を建設して430戸に給水を開始いたしました。

衛生環境の改善、衛生施設の整備については多年の懸案でありました清掃センターを橋場地内に計画し、39年、40年の継続事業で8,300万円を投じて県内最初の塵芥焼却25トン機械炉を、さらにまた都市一丸となって一部事務組合を結成して41年から2か年計画で1億2,000万円を投じてし尿処理施設の建設にとりかかり、今秋には完成稼働することになります。

働く人たちのための保育所は大切な施設でありますので、39年比角保育所の増設、40年東部保育所の新設、41年枇杷島保育所の増設、北鯖石保育所の新設などその充実をはかるとともに、農村における季節保育所についても期間延長等充実を期してまいりました。

不幸な子供の救護施設として都市組合によるさざなみ学園を41年度工費4,000万円で建設、今年4月から開所する運びになりました。またかねて国立療養所に重症心身障害児筋委縮症患者児収容施設を併設することを運動してまいりましたが、幸いにして成功し本年3月開所の運びになりましたことは不幸な子等の福祉対策の一步前進でありご同慶にたえません。

住宅政策の重要性にかんがみ、市街地周辺の循環道路の建設、ガス、水道の布設等による住宅適地の拡大をはかってまいりましたが、38年度から大久保地内に5,200坪の宅地を造成。一般市民に分譲、目下住宅の建設が進められておりま

す。

公営住宅は松波町地内に40年15戸、41年20戸を建設いたしました。

消防力の強化は有事の備えであります。40年に化学消防車を購入、可搬動力ポンプ、防火水そう等の整備をはかってまいりました。

交通禍による不幸から人命を守るため40年度から市機構に交通安全対策本部を常置し専任職員を配して交通安全の啓もう指導に当たるとともに信号機等安全施設の整備をはかってまいりました。また救急車の設置をはかって人命救助に努めております。市民に健全なレクリエーションの場を提供し、健康を保持増進する場と指導者を充実することもまた健康な市民生活のために大切なことであります。

39年の国民体育大会の機に約1億円を投じて市民野球場、総合プール、白龍公園の整備、海岸公園の美化緑化をはかり、他都市に誇りうる体育コンビナートの施設の完成をみたことは喜びにたえません。

市民会館、市庁舎は5億3,000万円で当年3月中に着工し、明43年秋完成の予定であり市民センターとして活用されることになります。

以上4年間を顧みて業績と現状を述べてまいりましたが、調和のとれた近代都市を建設し、住民の福祉の向上に全力を尽すことは市長に課せられた当然の責務であることを深く心に刻み努力をしてきたつもりであります。

任期余すところ50余日、顧みてなお欠くところの多きをはじながらも、誠心誠意全力を尽したあとのすがすがしさを感じつつ、また絶大なご支援を賜った市民各位に深甚な謝意をささげるものであります。

(昭和42年度施策と予算)

さきに申し述べてまいりましたように、過去4年間に柏崎百年の大計の基をなすもの、かねて懸案であったもの及び当面する事態に対処して経済、教育、福祉に膨大な事業を行なつてまいりました。これらの中には完成したものも数々ありますが、また継続中のものおよび、緒にはついたがこれからこそ真剣に取り組まなければならないものが多々あります。

即ち、当市にとっては世紀の大事業である庁舎、会館及び清掃センター、精薄施設の建設、荒浜、米山両小学校の統合、柏崎港の改修等は継続中であり、産業基盤の根幹である道路は国道8号線は見事に完成しましたが、116号線、252号線はこれからこそ馬力をかける必要があります、主要、一般県道またしかりであります。

農免道路の継続も容易な状態ではありません。

信越線の複線電化、越後線の本線化、柏崎駅舎の改築、駅前広場の拡張整備は国鉄の経営事情いかんによれば今後渋滞の懸念なしといたしません。

さらには中の坪ダムを調査段階から建設着工に持ち込むこと、原子力発電、開発港調査等は機を失してはならないものであります。

米山開発のきっかけとなる米山林道等々予算を掲げて新年度早々国、県へ折衝を要します。

かくのごとく、急テンポで変転する国県施策に呼応して遅れをとらないために、

また施策は急速早期に展開して市民の要請にこたえるために、私は、新年度における任期 1 か月にすぎないけれども、あえて昭和 42 年度通年予算を編成いたしました次第であります。

私は、かねてより地域開発は、広域的に市町村が結束し、なかんずく柏崎市はその中核となり、柏崎市民は一致協力総ぐるみで事に当るの必要を痛感しております。

日本は、戦後 20 年の間に壊滅のどん底から、急速な経済発展をとげ、今、世界五指の工業国となりました。しかし、経済の急速な成長の半面には多くのヒズミを生じました。都市過密、地域格差資本、労働の偏在物価の高騰等が新しい経済、社会問題として現われてまいったのであります。

今や格差是正は与論となり地域開発のために拠点方式がとられていますが、裏日本は表日本に比べて大きな隔りがあります。地方の開発の成否が将来の日本の発展の成否を解く鍵になります。

しかし、単なるかけ声や他力依存では発展は期せられません。土地、労働力、資源に恵まれ、対岸に未開の共存民族を擁して裏日本が日本海時代を招来するには、私たちは天性のねばり強さと英知をもってあくなき努力をいたさなければなりません。営々辛苦して積みあげる実績をもってその可能性を示し、国策を大きく導入しなければなりません。

そのために裏日本全体の結束が必要であります。私たちはまず、柏崎市民自からが一丸となり中越の雄郡としての実力を高め、中越全体の協力合作の中核となることを期すべきであります。

刈羽郡町村との広域行政を進め、機至れば合併を促進し、長岡市ほか中越各市町村と提携し、低工開発地域として結ばれた越後線沿線町村とも歩調をそろえて積極果敢に地域開発に突進いたすべきであります。

（1 施策の大綱）

私はこのような見地から地域開発を促進し市勢の振興をはかるため次のように大綱を掲げたいと存じます。

- （イ） 産業基盤の整備と産業間の均衡ある発展
 - （ロ） 都市機能（施設）の整備
 - （ハ） 健康的、文化的な生活環境の改善
 - （ニ） 恵まれない人たちのための社会福祉の向上
 - （ホ） 青少年の人づくりのための教育の振興
 - （ヘ） 市民精神昂場のため三大市民運動の展開
 - （ト） あげて切さたく磨、一致協力の市民態勢の確立
- を期してまいりたいと思います。

（2 予算の概要）

私は、かかる施策の大綱に基づいて新年度予算を編成いたしました。その概要を次に述べたいと存じます。

一般会計においては、経営費は極力圧縮いたしました。が、やむを得ない人件費の増高、施策の拡大に伴う経費や物価等により、かなり増額となり、庁舎、会館、精薄施設、清掃センター等大規模な継続事業が多く、米山林道等機を失してはならない新規事業、その他時代の要請にことうべき事業等を積極的に絞りこんだため超大型予算となりました。財源については通年見通しに立って確保につとめ、国、県の動向、社会の趨勢を検討し、予測しうるものの積極的な導入に努めて収支を調整いたしました。

その総額 1 億 3, 6 0 0 万円は前年比 2 7 パーセント増、人件費 4 億 3, 7 0 0 万円は、前年比 1 2 パーセント増、人件費とその他経営費の計 9 億 8, 0 0 0 万円は前年比 1 7 パーセント増に対し、事業費においては 6 億 5, 5 0 0 万円で前年比 4 5 パーセント増と著しい増額となりましたが、これは 2 億 9, 0 0 0 万円を投じた庁舎、会館建設事業費の影響があるからであります。

歳入においては、一般財源 8 億 9, 4 0 0 万円で前年比 1 8 パーセント増、このうち市税は 5 億 5, 5 0 0 万円と目いっぱい見積み前年比は 1 5 パーセント増となりました。特定財源は 7 億 4, 1 0 0 万円で前年比 4 1 パーセント増であります。この中には庁舎、会館分起債 2 億 2, 5 0 0 万円が含まれておるわけでありす。

特別会計では、国民健康保険会計において家族 7 割給付の平年度化その他給付改善に伴いその予算規模は 2 億 4, 6 0 0 万円となり前年比 3 4 パーセント増となりました。

（3 主なる施策）

基盤整備は地域開発の根幹でありますので引き続き公共事業を積極的に取り入れるつもりであり、本年は郡市あわせて約 2 0 億円の導入を得たい考えであります。国道、主要県道は市域内はほとんど終り郡に事業が移行しておりますが、国道においては完了した 8 号線の事業費実績を 2 5 2 号、1 1 6 号線に向けたいと存じます。柏崎－小千谷線、柏崎－寺泊線、小千谷－柿崎線、高田－保倉－柏崎線等主要県道の改良、舗装の促進をはかり、柏崎－湯沢線の国道昇格、荒浜－安田－新道線の県道の大河内－鯨波までの延長、高柳－黒姫－青海川線及び長鳥－荒浜線の県道昇格の要請をいたしたいと存じます。

鯖石川改修は更に増額し、鵜川は 1 億円、その改修区域も黒姫地内田屋川まで延ばしたい考えであります。

信越線の複線化工事は、いよいよ市内中心部に入り、柏崎駅舎の新改築が始まりました。鯨波駅舎の移設、越後線の強化等もさらに折衝を進めますが、国鉄経営事情のいかんにより事業速度が落ちることを警戒しなければなりません。4 6 年度以降になる信越線電化についても早々に対策を検討しておきたいと存じます。

柏崎港改修は高潮対策をも含めて 2 億円以上の事業費がほぼ確実な見通しで、3, 0 0 0 トン岩壁の建設に着手し、港域内整備がはかられ、いよいよ仕上の段階であります。

中の坪ダムの調査は、引き続き行なわれ、4 3 年着工となり水資源の見通しを得て、更に、大規模取水の検討をいたしたい考えであります。

資源開発会社が掘さくしている北条地内山澗の油井は有望と見られており、出雲崎沖の海底深鉱にも期待をいたしております。

都市計画は、柏崎駅通り線、栄町－悪田線の県事業の負担金600万円、市営事業分は6,300万円をもって64号線の舗装と表町への着手、駅前広場の拡張等を行なうことにいたしました。

なお、市道整備は生活環境改善の効果をもあわせて緑故債2,000万円を、東上条線の農免道路には事業費3,240万円の市負担金540万円を、林道に1,500万円を投じて改良、新設を公共事業とともに進め立地条件の向上改善をはかりたいと存じます。

さらに飛躍的大発展の基とするためには新たに大規模な開発港が必要であり、この調査に県とともにとりかかります。原子力発電の適所調査も本年国により行なわれます。

○（均衡ある産業の発展）

当市における商業は、県内水準から見ても弱いので、進取の意欲を振起するとともに意欲あるところには市として施策を進めたいと考えます。

東本町2丁目では舗道建設のために店舗の切り取り改造が行なわれており、本年は東本町1丁目も踏み切る筈であります。これらの町内と駅前通りでアーケード建設の計画も進められるので、市では制度金融枠を拡大し、利子補給、アーケードに対しては補助金を出して商店街近代化に強力なテコを入れたいと存じます。

米山大橋、ユースホテル、米山観光株式会社等が観光推進に加わり、本年は米山開発の端緒になる米山林道の着手、鯨波林道の継続、東の輪海水浴場の整備が進められ、民間の手による駐車場の整備や鯨波駅の移築また聖が鼻、旗持山等を加えた米山三里一帯の開発更に県立青年の家の誘致ができれば大したものになり、小木町と姉妹都市を盟約して佐渡と結ぶことになれば、佐渡、弥彦国定公園に米山が加わる条件はぐつと強くなります。

やがて3本の国道の整備と相まって上越佐渡ライン、上信越ライン、裏磐梯佐渡ライン、北陸ルートの4本の広域観光ルート脚光を浴びてくることになりましょう。

農業においては、省力大規模経営化のための農業改善が北鯖石地区で3年目が、その他上条地区、西中通長崎新田地区等で土地改良事業が行なわれます。

当市米収は、最近年産1万9,500トン前後で停滞していますので、これを2万2,000トンに増収させることを目標にして所要の施策を講じなければなりません。今年高田、田尻地区において200万円の予算を投じて土壌調査を行ない、また水稻高単位実習田を設けて多収穫農業を追求することにいたしました。

当市は酪農近代化計画地区の指定を受けましたので、上米山、南鯖石において本年から5か年事業で乳牛飼育をふやし、牛乳の生産増加をはかります。また養蚕、果樹園芸などの補完農業を適地適産してその地域固定化をはかりたいと存じます。自然林に対する人工林は、当市では現在22パーセント、これを32パーセントに

まで伸ばす計画で造林につとめます。本年新たに米山林道を開き、未開の原始林におのを入れ320町歩の山林の開拓に役立てることとし、観光の面にもひ益させたいと考えています。

柏崎市農業共済組合と鯖石農業共済組合が統合したことはめでたいことであり、謹辞をおくりたいと思います。

近く中通、吉井農業協同組合も合併いたしますが、これまた敬意を表する次第であります。

好不況の変動する社会情勢の中を耐えぬいて業績を挙げてきた工業界の奮闘には敬意を表します。工場団地に続いて工場アパートの設置準備が関係者により建設促進協議会を作って進められていますが、大いに期待し、その成功を願っております。

新企業の誘致はお客を招くようなわけにはゆきません。立地条件がかない企業成否の見通しにより設置されるものであります。柏崎港が漸く利用できそうになったのを見てとって昨年来進出希望の話があります。基盤整備立地条件の改善が進むにしたがって理研等既存産業の設備拡充が計画されておりますが、新企業の誘致もまた不可能ではありません。

（教育の振興）

教育が有効に支障なく行なわれるために施設整備には従来より意を用いてまいりました。荒浜、米山両小学校の統合は3,600万円を充てて屋内体育館等の建設で本年中に完了します。大平から米山小学校へ通学する児童のために、当市初めてのスクールバスを設けることにいたしました。

吉井小学校に音楽教育を、高浜と鯖石両中学校に理科教育施設を作ります。

教育内容は、教育委員会の権限に属するところではありますが、私としても重大な関心をもち、健康で元気のある児童としてすくすくと生長されるようこいねがっています。小中学校完全給食を行なうため学校給食センターを2か年継続で設置することとし、本年は用地の取得をはかります。

（体育の奨励）

市民皆体操運動は、職場から職場へ、更に地域、家庭への浸透普及をはかるため指導者の研修、指導会、体操会等を行ないます。要は市民ひとりひとりの体育愛好意識の昂場をこいねがっています。

今年から全県で行なわれる学校開放は、当市においては既に前年から北鯖石小、中学校、比角小学校で先鞭をつけており、本年は更に学校をふやしたいと考えています。皆泳運動も熱意をもって進めたいと思います。第四中学校にプールを、上条小学校にプール洗化装置を740万円で作ります。社会体育の推進力、柏崎体育団、坂田体育研究所等へは補助金、委託金を出して活動展開をされるよう期待しています。

正課体育を行なう学校体育については、なお格段の努力をお願いします。

市民の志気を鼓舞する強い選手の輩出も希望するところであります。

体育は底辺をひろげるとともに、高さも大切であるからであります。

○（三大市民運動の展開）

何事をなすも人であります。身心ともに健全で正義感が強く、公共性協力性、故郷を愛する人間らしさが、物質文明に偏って機械的人間に堕し勝ちな時代に、今ほど尊重されなければならないときにはありません。

健康明朗、相互敬愛、公共を尊ぶ柏崎市民性の昂場のために次の三大運動を展開いたしたいと存じます。

（ア 体力づくり）

その第1は体力づくりであります。病になったり、体力がおとろえている時は気分もおとろえることは、よく経験するところであります。

肉体労働であれ精神労働であれ不健康ではよく為すことができません。健康はあらゆる善とはたらきの基本です。「精神を鍛えようとするときは、まず、体を鍛えよ」と先人は言っております。

市民皆体操、市民皆泳運動を提唱します。

特に体操は、どこでも、いつでも自分の体に合わせて行なうことのできる最上の妙薬あります。

（イ 緑と花の町づくり）

次に、緑と花の町づくり運動であります。緑と花いっぱいの運動を国体のときだけで終わらせてはなりません。美を美とし、正を正とするのは美を愛する心から生れます。花の町、緑の街づくりはまた人づくりでもあります。

（ウ 交通安全）

次に、交通安全運動であります。酒のみ運転、無免許運転、スピード運転する者は、自分に負け人を傷ける敵であります。

交通規則を守れない者は、みんなの約束も守れない者です。人命の尊重は最高の道徳です。

この三大運動は、すべて心の運動です。自分の心に言いきかせて行なう各人の誓いの運動です。人を愛し、故郷を愛し、公共物を大切にすること—それは社会秩序の基本であります。

○（社会福祉の向上）

精薄収容施設は本年4月開所されますので、職員を督励して真心をもって可愛い子たちのお世話をいたします。国立療養所に40ベッドの重症身心障害児施設ができるが、さらに来年度40ベッド進行性筋委縮症児収容施設ができることになり、喜んでいます。これら施設ができた裏面に当地区手をつなぐ親の会の熱心な努力があったことを忘れることができません。

保育所は、安田に定員90名を新設し、柏崎保育所に30名の乳児用施設をいた

します。

生活保護費は、国の改定を見こんで13パーセント、アップで予算を組みましたが、これが運用に当っては親切公平に対象者のお世話に当たりたいと存じます。

社会の今日あるに貢献された老人の幸福を希い敬老会等行事を行なうとともに老人クラブの発展を期待し、特に本年から公会堂中段の間を老人クラブの使用に無料で開放する措置を講ずることにいたしたいと存じます。

○（都市施設の整備）

かねてからの懸案でありましたが会館、庁舎、し尿処理施設を同時につくることは難事中の難事であります。本年度事業分は、会館、庁舎あわせて2億9,000万円、し尿処理施設の建設費は1,900万円であります。

市民会館は、はじめ体育館と併用の構想でありましたが、審査会の答申を尊重して専用の集会ホール、集会室とし、体育館は切り離して後年におくり、改めてりっぱなものを計画することにいたしました。

ホールは、固定席1,200、ステージは奥行13メートルで県内随一のすばらしいものになります。庁舎は5階建1,800坪で市町村合併があっても間に合うものであります。

近く着工し来年秋完工の予定であります、りっぱな市民センターとして使用されることになります。

都市共立のし尿、施設は今秋には操業できる予定であります。従来し尿は荒浜青山の砂丘地に埋立てていたもので、かねて監督官庁から改善の勧奨を受けていましたが、これで衛生的な処理ができるわけであります。塵芥焼却機械炉とあわせて県内随一の高性能の清掃センターができることになります。

柏崎駅舎は、国鉄により改築中で今秋には完成し当市表玄関の偉容となりますよう。

○（生活環境の改善）

市営住宅は本年も20戸を建設します。これで松波団地の建設を終了いたします。

県営住宅は16戸誘致の見通しもつきました。県営住宅供給公社とも目下協議しており、今後に備えて宅地造成を検討いたしております。

公営住宅居住者から払い下げの要望もありますが、上級官庁においてめんどうがありますので、さらに折衝いたしたいと思えます。

水道は、41年度に1万9,000トン給水能力施設を完成しましたが、さらに44年夏のピーク時以降に備えて更に7,000トン給水能力を増加させる工事の設計を本年中につくります。また飲料水不良地区の水源調査を行なって今後の計画の資といたします。

ガスは、ガス資源事情のため当分新規供給区域の拡張はできません。現供給区域内も冬季ピーク時において末端で支障をきたしておりますので、新年度に安定供給対策として6,000立方メートルのガスホルダーを建設し、また漏

えい対策として老朽本支管の改良と需要家市民の理解を得て邸内管の改良も進めたいと存じます。

水道、ガスとも経営の合理化、施設改善の資にするためコンサルタントによる診断調査をいたす予定であります。

環境衛生は地区組織の活躍でよくなってまいりましたが、なお測溝等改善の必要がありますので、原材料費その他の費用を計上いたしました。

(結語)

以上私は、任期中の業績を顧み、いよいよ高度化する社会情勢に対処して、地域の開発、市民福祉の向上を期す施策の大要について述べてまいりましたが、私の念願するところはただ1つ、市民の幸福の招来であります。

ひとりの幸福は時にひとりを不幸にします。私の念願するところはひとり、ひとりの幸福であります。社会的なひとり、即ち、市民の幸福であります。私はこの信念に立って時に泣き、時に苦しみ、そして喜びを求めてまいりました。

今、私はひとり、ひとりの「より豊かな生命の充実」を、「より好ましい生活の設計」を、「より深い相互の理解」をもって実現しようではないかと市民に訴えたのであります。漸くれい明期を迎えた市勢発展の基盤に立って、明日への躍進を、さらに開拓者の精神を奮いおこして進もうではありませんか。

過去4年間、温い理解と、かわらざる協力を賜りました市民各位に心から感謝の意を表するとともに、常に市政を鞭撻し指導をいただいた市会議員各位に対し深甚な敬意をささげまして私の所信表明を終わります。

ご静聴ありがとうございました。(拍手)